

はじめに

少子高齢化の進展により、今後、労働力人口の減少が見込まれる中、元気で活力ある社会を築いていくためには、男性も女性も、ともに個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が必要です。

こうした中、国では、平成25年6月に新たな成長戦略として「日本再興戦略」を策定し、その中核に「女性の活躍促進」を位置付けるなど、経済成長の担い手として女性の可能性に注目しています。

本県としましては、県内の経済団体に対して、女性の活躍による経済活性化に向けた取組への協力を要請するとともに、「第3次千葉県男女共同参画計画」に基づき、男女がともに働きやすく、子育てしやすい環境づくりに向けた意識啓発などに重点的に取り組んでいるところです。

しかしながら、政策・方針決定過程への女性の参画、仕事と家庭の両立、女性に対する暴力の問題等、まだ多くの課題が残されています。

男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めるためには、男女共同参画に関する状況を統計データ等により「見える化」とともに、行政が取り組む施策について広く周知していくことが重要です。

そこで、本県の男女共同参画の推進状況と、平成24年度における全事業の実施状況や重点的取組事業に対する評価等を白書として取りまとめました。

本白書が、皆様にとって千葉県の状況や施策等についての理解と関心を深めていただくきっかけとなり、今後、家庭や地域、職場、学校など身近なところから男女共同参画の取組を進めていただく一助となれば幸いです。

平成26年1月

千葉県総合企画部長 鶴巻 郁夫